

第 2 回勉強会テーマ「入学前学習プログラムの実施状況及び今後の取組」

去る 10 月 25 日（水）に名桜大学 SAKURAUM4 階研修室 A にて、第 2 回高大接続勉強会を開催いたしました。北部地区の高等学校から 6 名の先生方と名桜大学から 11 名の教職員が参加いたしました。

今回は、開始前に本学のライティングセンター、言語学習センター、数理学習センターを案内し、各センターのチューターにセンターの役割や活動内容について報告をしてもらいました。勉強会では、第 1 回勉強会を振り返り高大接続改革の現状について確認し、次に本学の学習センターの設置当初の状況から現在に至るまでと各センターの様子や学生達の活動について、木村堅一教授（前リベラルアーツ機構長）に説明をしていただきました。続いて、本題の「名桜大学の入学前学習プログラムの現状と課題」について、これまでの実施状況等の情報提供を行いました。さらに今後の具体的な取組として現在の学習プログラムに加えて「入学前特別講座（数学）」の実施について提案を行いました。

その後の情報交換会では、高等学校側から入学前学習プログラムの取組状況について、高校側にも情報提供をして欲しいという要望が出されました。高等学校の先生方からのコメントから、高大の相互理解に基づく情報収集及び情報共有は、高大接続の実質化に向けた一体的な教育改革に繋がることを実感しました。

今後も具体的な連携についても意見交換を行う方向で開催することが確認され、閉会となりました。

ご多忙の中、本会にご参加・ご協力をいただきました、高等学校の先生方、本学の関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。

★ 高大接続勉強会に参加された高校の先生方のコメント 10/25(水)

- ①入学前の特別講座については、ぜひ開催していただきたいと思います。時間についてはもう少し長くてもいいのではないのでしょうか。
- ②北部枠については、特別枠なので、特別な条件をつけることは必要ではないかと感じています。
- ③新大学入試もスタートするので、今後もこのような勉強会を開催し意見交換会ができればいいと思います。もっと基礎学力を向上させた上で大学進学をさせていきたいと思います。高校三年間で、学力は伸びてきています。
- ④本校の生徒は、基礎的な力が身に付いている生徒が少ないので、大学でも苦労するだろうと感じています。高校では“朝学”の時間を通して、小中学校の学びなおしをしています。高校内でも学力差が激しいので、学力上位の生徒たちを伸ばしていけないのが現状で、下位の生徒たちを中心にサポートをしているのが現状です。大学進学を目指す上位層の生徒たちをしっかりと基礎的な力を身につけさせていけるように、高校でもサポートしていく必要があると考えさせられました。
- ⑤頑張ったら達成できたという体験があまりにも少なすぎる社会になっていると感じる。あるいは達成できた生徒とできなかった生徒の二極化が広がっていて、投げやりとはいかなくともそこそこやっていたらいいと…。
- ⑥第 3 回があるといろいろな話がより多くできると思います。
- ⑦北部の生徒を育てるためにも協力したいと思います。
- ⑧普通教科の学びが不足しています。入学後の学習についていけるのかこちらとしても不安があります。受験の前から、合格しておわりではなく合格からスタートという意識付けを行っていこうと思います。

◆ 第 2 回高大接続勉強会・情報交換会の様子



＜三学習センター視察の様子＞



写真1 言語学習センター



写真2 ライティングセンター



写真3 数理学習センター

◆勉強会の資料より抜粋

○高大接続とは何か

◆大学入試改革も含まれているが、それだけではない。

◆①「高等学校教育」と、

②「大学教育」、

③両者を接続する「大学入学者選抜」を、

連続した1つの軸として、一体的に改革するもの。

○なぜ「高大接続改革」なのか。なぜ三者一体？

◆「高等学校教育」と「入学者選抜(大学入試)」は一緒に変わる必要がある。

・大学入試が変わらないと高校教育が変わらない、

・受験圧力の低下と高校生の学修量の低下、等

◆少子化・国際競争の進展の中で、大学教育の質的転換(しっかりと学ぶ大学教育へ)

・大学教育を受けるに足る入学者の選抜、多様な入学者とそれに合わせた教育プログラムの必要性、等

「高大接続改革」の必要性

●国際化、情報化の急速な進展

！

●社会構造も急速に、かつ大きく変革。

●知識基盤社会のなかで、新たな価値を

創造していく力を育てることが必要。

●社会で自立的に活動していくために必要

な「学力の3要素」をバランスよく

育むことが必要。

【学力の3要素】

① 知識・技能の確実な習得

② (①を基にした)

思考力、判断力、表現力

③ 主体性を持って多様な人々と

協働して学ぶ態度

学力の3要素を

多面的・総合的に評価する

大学入学者選抜

高等学校教育・大学教育・大学入学者選抜の一体的改革

高大接続改革

学力の3要素を育成する

高等学校教育

高校までに培った力を

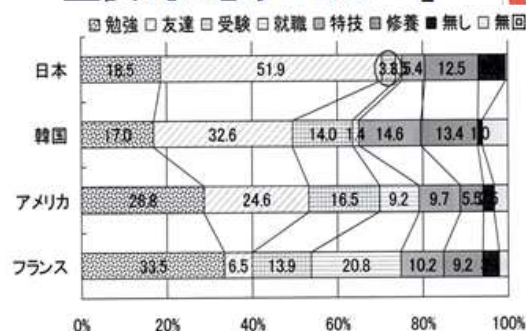
更に向上・発展させ、

社会に送り出すための

大学教育

高校生の学校生活意識国際比較

「重要だと思うことは？」



名桜大学 平成30年度計画

1. 本学のリベラルアーツ機構の中期目標

①基礎学力に困難を抱える学生を対象とした学習支援を行うピアラーニングプログラムを推進する。

②地域のニーズに留意しつつ、高大接続を実質化し、意欲のある多様な学生を受け入れる方法と体制を整備する。



高大接続勉強会と入学前学習プログラム

自己推薦・推薦入試合格者対象 「入学前特別講座(数学)」の実施要項

1. 「入学前特別講座(数学)」の目的

①入学前学習の意義や必要性を理解させることで、入学後の主体的な学びに繋げる。

②卒業論文に活用出来る統計学習の準備学習として、統計分野の数学基礎力の向上を図る。

③本学のカリキュラムポリシー*の実現に向けて、数学基礎力に困難を抱える学生を対象としたピアラーニングプログラムの一環として入学前学習を実施する。

*数理的分析能力、ICT活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を4年間かけて育成できるカリキュラムを編成する。

2. 対象：自己推薦、推薦入試合格者の希望者

3. 実施期間：2019年2月12日(火)～2月15日(金)
時間：14時～16時(1日2時間)

※回数も1～4回の希望制とし、継続希望者にも対応

4. 場所 名桜大学 SAKURAUM4階数理学習センター

5. 講座内容

①「数学基礎力養成講座」

・・・計算基礎力問題及び数的推理問題演習

②「統計基礎力養成講座」

・・・高等学校数学の基礎問題演習

③「数学検定対策講座」

・・・数学検定(2級または準1級)対策